

2012年4月2日

2012年度入社式 社長挨拶

日本興亜損害保険株式会社 取締役社長 二宮 雅也

4月2日に開催する2012年度入社式における「社長挨拶」を以下の通りご案内します。

【要 旨】

- ・ 本年は、当社の創業120周年の年であるとともに、新しい会社の創設に向けてスタートを切った記念すべき年である。
- ・ 3月23日、当社と損保ジャパンは2014年度上半期中に合併し、新会社「損害保険ジャパン日本興亜」を設立することを公表した。
- ・ 当社と損保ジャパンは両社の培ってきた強みを1つの会社として発揮し、強固な事業基盤のもと収益力の最大化を図り、最もお客さまに評価される損害保険会社になることを最重要の経営戦略目標とし、持続的な成長を目指していく。
- ・ 新会社では、次の「3つの目指すべき企業像・ビジョン」を掲げた。
 - ①規模だけでなく、サービス品質でも業界をリードする会社
 - ②業界トップレベルの事業効率と収益性を安定的に維持する会社
 - ③損害保険事業を核として、代理店とともに信頼を得た国内約2,000万人のお客さまに対し、安心・安全を支援する先進的なサービスを提供し、真のサービス産業に進化していく会社
- ・ 国内生保事業、海外保険事業、金融サービス事業など、ますます拡大するNKSJグループのフィールドで、ボーダーレスな発想と行動力を発揮して、地域・社会に貢献していただきたい。
- ・ また、皆さんには「自ら考え、自律的に行動し、学び続ける人」、「誰からも信頼される人」、「自らの意見を表明し行動できる人」になっていただきたい。
- ・ 当社は、2年後に新しい創業の時を迎える。当社と損保ジャパンのそれぞれの強みを引き継ぐ素晴らしい会社を創るために、今日新たに加わった皆さんと一緒に走り続けていく。皆さんの活躍を大いに期待している。

【ご参考】 2012年度新入社員数 : 126名

【全文】

皆さん、入社おめでとうございます。

本年も、新入社員の皆さんをお迎えできたことを、大変うれしく思います。

今日から社会人としての新たな人生がスタートします。

これまで皆さんを育ててくださったご両親、皆さんを見守ってくださったご親族やご友人に感謝し、これからの会社生活に臨んでいただきたいと思います。

皆さんは、当社にとって、大きな節目の年に入社されました。

本年は、当社の創業120周年の年であるとともに、新しい会社の創設に向けてスタートを切った記念すべき年であるのです。

先月23日、当社と損保ジャパンは、2014年度上半期中に合併し、新会社「損害保険ジャパン日本興亜」を設立することを公表いたしました。

少子高齢化や人口減少、相次ぐ自然災害の発生など、損保業界を取り巻く経営環境は厳しい状況にあります。こうした環境を踏まえ、当社と損保ジャパンは両社の培ってきた強みを1つの会社として発揮し、強固な事業基盤のもと収益力の最大化を図り、最もお客さまに評価される損害保険会社になることを最重要の経営戦略目標とし、持続的な成長を目指していくこととしました。

損保ジャパン日本興亜では、次のような「3つの目指すべき企業像・ビジョン」を掲げました。

- ①規模だけでなく、サービス品質でも業界をリードする会社
- ②業界トップレベルの事業効率と収益性を安定的に維持する会社
- ③損害保険事業を核として、代理店とともに信頼を得た国内約2,000万人のお客さまに対し、安心・安全を支援する先進的なサービスを提供し、真のサービス産業に進化していく会社

これらの目指す企業像は、遠い将来のことではなく、近い将来に実現していかななくてはならないと考えています。

目指す企業像を実現するために、一番、重要なものは、人材力、皆さん一人ひとりの力です。新入社員の皆さん、先輩社員とともに夢と意欲を持って生き生きと働くことのできる新しい会社を一緒に創り上げていきましょう。

今後、皆さんの活躍のフィールドは確実に広がっていきます。

損保ジャパン日本興亜の事業基盤はさらに強固かつ効率的になり、国内生保事業、海外保険事業、金融サービス事業など、皆さんには、ますます広がっていくNKSJグループのフィールドで、ボーダーレスな発想と行動力を発揮して、地域・社会に貢献していただきたいと思います。

皆さんは、社会貢献性の高い損害保険会社を志望し、就職されました。

振り返れば昨年3月、未曾有の大震災が我が国を襲い、大勢の方が被害に遭われました。ここで改めて被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

私は、この震災を境として、社会の損害保険会社を見る目が大きく変わってきていることを実感しています。損害保険会社は、国民生活に欠かせない「社会のインフラ」であることが、この震災を通じて再確認されました。

特に、当社は、震災発生直後から全役職員の力を結集した結果、業界 No.1 のスピードで保険金のお支払い手続きを進めることができ、お客さまから数多くの感謝のお言葉をいただきました。

この震災対応を機に、当社には、今後いかなる大規模災害が発生しても、微動だにすることなく、災害に立ち向かえるノウハウが蓄積され、共有されたと確信しています。

東日本大震災のほか、昨年発生した電災や台風などの広域災害対応でも、お客さまから高い評価をいただいています。また、自動車保険においても、外部機関による『2012 年自動車保険満足度ランキング』において、「事故対応部門」で第 1 位を獲得しており、当社の事故対応力に対するお客さまの満足度は年を重ねるごとに確実に高まっていると実感しています。

これは、何よりも、当社の社員一人ひとりがお客さまのニーズを的確にとらえ、真面目に、真摯に業務に臨み、お客さまからの信頼を得た結果であると確信しています。

さて、皆さんの入社にあたり、3 点お願いしたいことをお話しします。

1 点目は、「自ら考え、自律的に行動し、学び続ける人になってほしい」ということです。

新しい会社では「求める人物像」の 1 つとして、「自ら考え、自律的に行動し、学び続け、失敗を恐れず常に高い目標に向かってチャレンジし続ける社員」を掲げています。

皆さんは、実際に仕事をしていく中で、疑問を持ったり、判断に迷ったりすることが多いと思います。しかし、先輩社員などに質問する前に、何をすべきか、何が正しいか、まずはご自身で考えてみてください。

正しい判断力を身につけるためには、この「考える」ステップが非常に重要です。真剣に考えれば、問題を自分事として解決しようとする意識が高まります。また、考えることによって、好奇心が湧き、物事を深く学ぶことにつながっていくのだと思います。

会社は人により成り立っています。会社として正しい判断を行い、持続的に成長していくためには、皆さんのような新入社員であっても、社歴の長いベテラン社員であっても、一人ひとりが自ら考え、学び、成長し続けることが必要なのです。

2 点目は、「誰からも信頼される人になってほしい」ということをお話しします。

約束を守る、時間を守る、といった基本的なことは社会人として当然のことですが、お客さまの声、社会の変化を真摯に受け止め、真面目に、誠実に行動し、信頼を築いていくことが大切です。

決して、逃げたり、ごまかしたりしてはいけません。何が正しいか、今何をすべきか、を常に考え、皆さん一人ひとりが、あらゆる人からの信頼を獲得してください。

社員一人ひとりの信頼が高まれば、会社は、お客さまからの信頼を得て、お客さまの数を増やして持続的・継続的に収益を挙げて社会に貢献していくことができるのです。

3点目は、「自らの意見を表明し行動できる人になってほしい」ということです。

自らの意見を積極的に表明し、あるべき論を議論することは、私たちを取り巻く様々な人との理解を深め、仕事を建設的に進めることができます。あるべき論で話し合えば、人の想いは相手に伝わります。

もちろん、相手の言うことを聞かず、一方的に自分の意見を主張するだけでは、議論になりませんし、相手の理解は得られません。

そして、意見を表明したら、ただちに行動に移してください。自らの意見を表明し、行動することによって、責任を果たすことができるのです。

これらの3点は、社会人の心構えとして大切なことであるばかりでなく、皆さん自身が、成長し続け、未来を切り拓いていくのに必要なことだと考えています。

冒頭で申し上げたとおり、当社は、2年後に新しい創業の時を迎えます。

今ここで、120年前の当社創業以来、当社を支えてくださった多くのお客さまや代理店さん、さまざまな困難を克服して当社の歴史を刻んでこられた先輩方へ、改めて深い感謝の気持ちを表したいと思います。

そして、このような感謝の気持ちを胸に、当社と損保ジャパンのそれぞれの強みを引き継ぐ素晴らしい会社を創るために、今日新たに加わった皆さんと一緒に走り続けていきます。

皆さんの活躍に、大いに期待しています。

以 上

平成二十四年四月二日

取締役社長 **二宮 雅也**